

適用規格									
定 格	使用温度範囲	-55 °C ~ 85 °C (注1)		保存温度範囲	-10 °C ~ 60 °C (注2)				
	電 圧	AC 50 V		使用湿度範囲	相対湿度 95%以下 (注3)				
	電 流	0.3 A		保存湿度範囲	40 % ~ 70 % (注2)				
性 能									
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT	AT		
構 造	外観, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○		
	表示	目視にて確認する。				○	○		
電 気 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz)で測定する。		60 mΩ以下		○	—		
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。		100 MΩ以上		○	—		
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	○		
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。		差込力 100.8 N 以下 引抜力 4.2 N 以上		○	—		
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。		① 接触抵抗: 70 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—		
	耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—		
環 境 的 性 能	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。				○	—		
	定常状態の耐湿性	温度 40±2°C、湿度 90~95%中に 96 時間放置する。		① 接触抵抗: 70 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—		
	温度サイクル	温度 -55 → +85 °C 時間 30 → 30 分を 5 サイクル試験する。 (槽の移し換え時間は2~3分)				○	—		
	耐熱性	温度 85 °C中に 96 時間放置する。		① 接触抵抗: 70 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—		
	耐寒性	温度 -55 °C中に 96 時間放置する。				○	—		
	塩水噴霧	濃度 5 % の塩水、48 時間放置する。		① 接触抵抗: 70 mΩ以下 ② はなはだしい腐食がないこと。		○	—		
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2 °C、75±5 %RH 96 時間放置する。 (試験規格: JIS C 60068)				○	—		
はんだ耐熱性	リフローの場合: ピーク温度 MAX 250°C 220°C以上 60秒以内			外観の変形及び端子などに著しいガタがないこと		○	—		
	はんだごての場合: こて温度 360°C はんだ付け時間 5 秒以内					○	—		
はんだ付け性	はんだ温度 240±3 °C, 浸せき時間 3 秒間のはんだ付けを行う。		はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだで濡れていること。		○	—			
△の数		訂正記事		設計		検図		年月日	
△									
備考				承認		HS. OKAWA		13. 09. 21	
注1. 通電時の温度上昇を含みます。				検 図		HT. YAMAGUCHI		13. 09. 21	
注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。				担 当		TY. EDAGAWA		13. 09. 21	
注3. 結露しないこと。				製 図		TY. EDAGAWA		13. 09. 21	
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。									
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				図番		SLC4-330883-01			
<b>HRS</b>	製品規格表			製品名		FX10A-168P-SV4 (83)			
	ヒロセ電機株式会社			製品コード		CL570-0306-2-83			
								△ 1/1	